

# 仕様伺書

対象形式：M6□XAS

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形式		JOB No.		承認	作成
貴社名		機番			
お名前		営業担当			
注番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。  
標準設定値とは、一切のご指定がない時の値です。

製造部門	
確認	設定
機番	

## ■設定項目

項目	設定可能範囲	標準設定値	ご指定出荷時設定値	弊社記入欄
応答特性 *1	高感度 標準	標準	<input type="checkbox"/> 高感度 <input type="checkbox"/> 標準	<input type="checkbox"/> 確認済
フィルタ時定数 *2	0 (フィルタ処理なし) 0.5 ~ 30 秒	0 (フィルタ処理なし)	秒	<input type="checkbox"/> 確認済
警報設定値 *3	-2 ~ +102 %	80.0 %	%	<input type="checkbox"/> 確認済
警報動作 *4	上限 下限	上限	<input type="checkbox"/> 上限 <input type="checkbox"/> 下限	<input type="checkbox"/> 確認済
警報時励磁方向 *5	励磁 非励磁	励磁	<input type="checkbox"/> 励磁 <input type="checkbox"/> 非励磁	<input type="checkbox"/> 確認済
電源 ON デイレー時間 *6	0 ~ 999 秒	5 秒	秒	<input type="checkbox"/> 確認済
警報 ON デイレー時間 *7	0 ~ 999 秒	0 秒	秒	<input type="checkbox"/> 確認済
ヒステリシス *8	0.0000 ~ 99.9999 %	1.0 %		<input type="checkbox"/> 確認済
リアライズ機能 *9	有効 無効	無効	<input type="checkbox"/> 有効 (付表を使用してください。) <input type="checkbox"/> 無効	<input type="checkbox"/> 確認済

### \* 1、応答特性

標準は変換器の標準的な応答特性です。定常入力時のばらつきが非常に小さく安定しますが、微小な入力変化に対応しきれないことがあります。  
高感度は標準の応答特性と比較すると、微小な入力変化に対する応答が高速になりますが、定常入力時のばらつきが大きくなる特性を持っています。

### \* 2、フィルタ時定数

設定した時定数の一次フィルタ処理がかけられます。本パラメータに0を設定するとフィルタ処理は行われません。0.5 ~ 30 秒までの時定数が設定できます。  
一次フィルタは一般的なCRフィルタと同等で、設定した時定数の秒数は入力が0%から100%に入力に変化したとき、約63%まで追従するのにかかる時間となります。

### \* 3、警報設定値

警報を判定するためのしきい値を設定します。

### \* 4、警報動作

上限を設定すると、出力値が警報設定値以上になると警報、下限を設定すると以下になると警報と判定します。

### \* 5、警報時励磁方向

警報時励磁方向は、励磁、非励磁の2通りの設定が可能です。

警報時励磁方向設定により、警報、非警報時、機器非通電時に接点 (COM-NO 間、COM-NC 間) の状態が実際にどのようになるかを下表に記します。

状態	励磁設定時		非励磁設定時	
	COM-NO 間	COM-NC 間	COM-NO 間	COM-NC 間
警報	ON	OFF	OFF	ON
非警報	OFF	ON	ON	OFF
機器電源 OFF	OFF	ON	OFF	ON

※ON=接続状態/ OFF=非接続状態

### \* 6、電源 ON デイレー時間

本器を通電後、本設定の時間経過までは警報判定 (出力) を行いません。

### \* 7、警報 ON デイレー時間

警報条件が成立した後、警報条件が成立したまま本設定の時間経過するまでは警報出力を行いません。

時間経過を待つ間に警報条件が非成立となった場合は、保持されている経過時間はクリアされ、次に警報条件が成立すると、あらかじめ最初から時間経過を待ちます。

### \* 8、ヒステリシス

警報、非警報遷移時の警報設定値を調整するパラメータで、警報状態から、非警報状態に遷移する際、警報設定値に本パラメータで設定した値分、非警報側に加算して判定を行います。

### \* 9、リアライズ機能

ユーザ指定テーブルによるリアライズ機能を有効にするかを設定します。無効、有効の2つより選択でき、無効を選択すると、ユーザ指定テーブルによる変換は行われません。有効を選択すると、入力に対してユーザ指定テーブルによる変換が行われた出力となります。

有効を選択した場合は、付表「**■**リアライズ設定」を使用してください。

付表

■リニアライザ設定

$X[n]$  = n 番目の入力値,  $Y[n]$  = n 番目の出力値

(単位は mA, mV, V, %より、お選び下さい。)

$-2\% \leq X[n] \leq 102\%$ ,  $-2\% \leq Y[n] \leq 102\%$ ,  $X[n] < X[n+1]$

弊社記入欄
<input type="checkbox"/> 確認済

n	X (単位: )	Y (単位: )	n	X	Y
0			25		
1			26		
2			27		
3			28		
4			29		
5			30		
6			31		
7			32		
8			33		
9			34		
10			35		
11			36		
12			37		
13			38		
14			39		
15			40		
16			41		
17			42		
18			43		
19			44		
20			45		
21			46		
22			47		
23			48		
24			49		

n	X	Y	n	X	Y
50			75		
51			76		
52			77		
53			78		
54			79		
55			80		
56			81		
57			82		
58			83		
59			84		
60			85		
61			86		
62			87		
63			88		
64			89		
65			90		
66			91		
67			92		
68			93		
69			94		
70			95		
71			96		
72			97		
73			98		
74			99		
			100		